

神戸 2022 世界パラ陸上競技選手権大会の概要

(神戸 2022 世界パラ陸上競技選手権大会事務局 (文化スポーツ局国際スポーツ室内))



<大会理念>

- ▶ TSUNAGERU つなげる – パラリンピックムーブメントの継承とパラスポーツの振興
東京 2020 パラリンピックにおける感動や興奮を継承し、パラスポーツへの関心を高める。
- ▶ HIROGERU ひろげる – 国際親善の促進
『国際スポーツ都市神戸』を世界に発信し、スポーツを通じた交流の輪を広げる。
- ▶ SUSUMERU すすめる – インクルーシブな社会の実現
本大会をきっかけに、障害者をはじめ誰もが暮らしやすいまちづくりを進める。

<神戸大会の概要>

1. 主催 国際パラリンピック委員会 (International Paralympic Committee, IPC)
2. 運営 神戸 2022 世界パラ陸上競技選手権大会組織委員会
(Local Organising Committee of Kobe 2022 World Para Athletics Championships, LOC)
会長: 増田 明美 (日本パラ陸上競技連盟 会長)
3. 日程 2022年8月26日(金)~9月4日(日) 10日間

イベント	日程
各国選手団 入国開始	8月21日(日)
開会式(競技開始)	8月26日(金)
閉会式(競技終了)	9月4日(日)
各国選手団 出国最終日	9月5日(月) (予備日: 9月6日(火))

4. 競技会場 神戸総合運動公園ユニバー記念競技場
(神戸市須磨区)



5. 参加見込
約 100 の国と地域から合計 約 2,300 人
選手約 1,300 人 (うち 400 人は車椅子使用)
役員約 1,000 人 (各国パラリンピック委員会等)

6. 種目数 未定 (国際パラリンピック委員会が決定)
※ 前回ドバイ大会では 172 種目

神戸 2022 世界パラ陸上競技選手権大会の概要

(神戸 2022 世界パラ陸上競技選手権大会事務局 (文化スポーツ局国際スポーツ室内))



〈大会ロゴマーク〉



コンセプト

この大会ロゴには、未来へと躍動するスポーツの発展とパラスポーツに象徴される多様な価値観を、世界に向けて発信する巨大な波が描かれています。

伸びやかで自由なラインにはスポーツの躍動感が、見るものの心を躍らせるカラフルなカラーリングには共存し調和する多様な価値観がそれぞれ表現されています。

港町・神戸のランドマークであるポートタワーや海洋博物館を描き、ここ神戸からスポーツを通じた平和と多様性の波を広げていきたいというポジティブなメッセージを込めデザインされています。

〈大会キービジュアル〉



コンセプト

この大会キービジュアルは大会ロゴの巨大な波が拡がり生まれました。「神戸を中心に海で繋がる地球」をモチーフとし、世界中のアスリート、サポーター、観客の皆さんが多様な価値観を認め合いながら繋がり、調和するというメッセージがこめられています。

(参考) 世界パラ陸上競技選手権大会 (World Para Athletics Championships, WPAC)

- ▶ 世界パラ陸上競技連盟が創設し、国際パラリンピック委員会が2年ごとに開催する、世界最高峰のパラ陸上競技大会。肢体・視覚・知的障害が対象。
- ▶ 1994年にドイツ・ベルリンで第1回大会を開催。当初4年に1度、2011年第5回大会以降は2年に1度開催。第10回となる2022年大会は、東アジア(国内)で初めて神戸市で開催される。

第1回	ベルリン・ドイツ	1994年7月22-31日	第6回	リヨン・フランス	2013年7月20-29日
第2回	バーミンガム・イギリス	1998年8月9-16日	第7回	ドーハ・カタール	2015年10月21-31日
第3回	リール・フランス	2002年7月20-28日	第8回	ロンドン・イギリス	2017年7月14-23日
第4回	アッセン・オランダ	2006年9月2-10日	第9回	ドバイ・UAE	2019年11月7-15日
第5回	クライストチャーチ・NZ	2011年1月21-30日			